

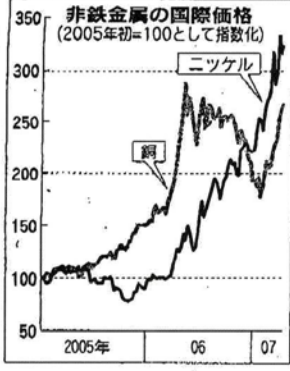
日本経済新聞

夕刊
4月24日
(火曜日)

発行所 日本経済新聞社
東京本社 〒100-8066 03(3)270-0251
東京都千代田区大手町 1-9-5
大阪本社 〒540-8588 06(6)943-7111
大阪市中央区大手前 1-1-1
名古屋支社 〒460-8366 052(2)43-3311
名古屋市中央区栄 4-16-33
西部支社 〒812-8666 092(2)473-3300
福岡市博多区博多駅前 2-16-1

金属価格、軒並み高騰

家電製品や建材に使う金属素材の価格が軒並み高騰している。非鉄では代表的な銅の国内価格が昨年五月の過去最高値に並んだ。ニッケルなども高い。国際市場で中国などの買いが再び活発化しているためだ。レアメタル(希少金属)も値上がりしており、これらを使う加工品や最終製品に値上げの動きも出てきた。



銅、最高値圏に レアメタルも上昇 家電、転嫁の動き

エアコンなどに使う銅は、日鉱金属の販売価格は、目録金属の販売価格(山元建値)が1ト百万円と過去最高値。国際指標であるロンドン金属取引所の相場が1ト8000ドルと再び騰勢を強めているほか、為替の円安・ドル高基調を映した。国際相場は二年で約二・五倍となった。

銅電線が上昇前の二年前に比べ七・九割高い。ステンレスなどに使うニッケルの国際価格も1ト四万九千円。二年で三倍になり、最高値圏にある。鉛や亜鉛も高い。銅の加工品も値上がりしている。東京の取引価格は半導体を使う銅条や

に使うタンは今年度の国内価格が昨年度より三割上がった。供給量が限られる中で世界的に需要が増えている。銅の高騰の影響は最終製品にも及んでいる。松下電器産業や三菱電機などは昨秋、ルームエアコンの新商品の店頭予想価格

を上げを考えている。今回の原料高騰を受け「現時点では製品価格引き上げを考えている」とい

も供給が締めやうい風潮が続くとみられ、じわじわと家計への影響が広がる可能性がある。

